

佐賀市農村振興基本計画

概要版



佐賀市農村振興基本計画は、本市の農業振興・農村づくりの目標と基本方針等を体系的に整理し、今後の目指すべき方向性を示すものとして策定しています。

本計画では、地域の農業の健全な発展のために必要な「農業生産基盤の整備」および「農村地域の生活環境の整備」を柱に、快適で個性ある農村地域づくりを目的として、農村地域の将来像とその実現方法を具体的に示し、農業・農村の振興を図っていきます。

「地域の望ましい姿」は、20年あるいは30年後を見据えたものとする必要がある一方、農業・農村を取り巻く環境や対処すべき課題は目まぐるしく変化しているため、計画期間は、2024年（令和6年度）を初年度とし、2033年（令和15年度）までの10年間としています。なお、今後の社会経済情勢の変化等に柔軟に対応するものとし、必要に応じて見直しを行うものとしします。

1. 佐賀市の農業・農村を取り巻く環境には、魅力ある特徴があります

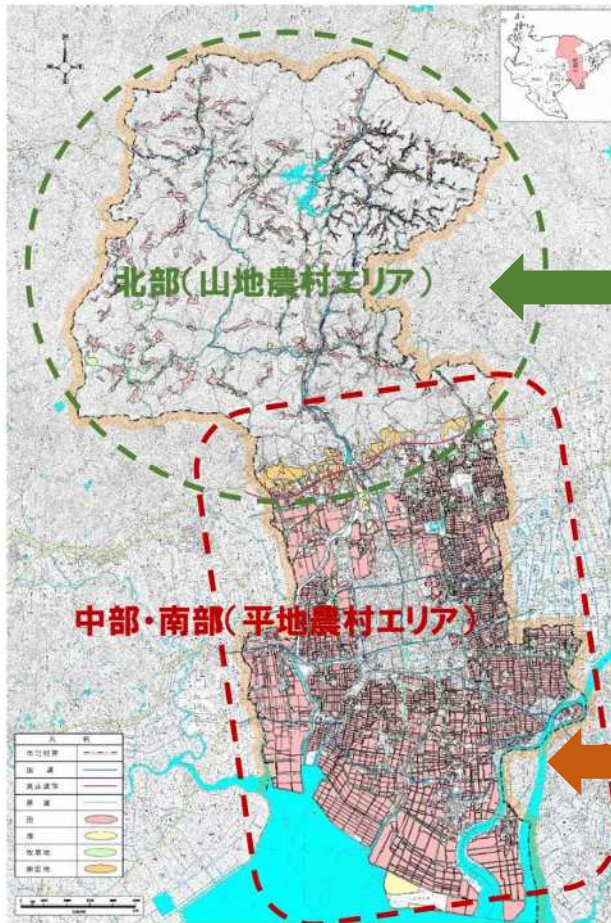
生産と消費が近接している

山から海まで多様な生産環境を有している

有機農業・地産地消に対する関心が高い

生産性の高い農業の展開が進められている

本市の農地・農村の分布は、山間地に農村集落が点在する北部地域と、市街地を農地が取り囲む中部地域、有明海干拓事業による広大な農地が広がる南部地域に大別されます。



北部（山地農村エリア）

- 山間地、農地・農村が点在
- 棚田・畑地が大半
- 過疎地域
- 小規模な農地
- 豊かな自然環境・湖面
- 気候を活かした米・施設園芸
- 福岡都市圏への良好なアクセス

中部・南部（平地農村エリア）

- 市街地を囲む農地・農村
- 広大な平坦地
- 水田が中心
- 規模が大きな農業経営
- 水稻・麦・大豆・施設園芸
- 高速道路、鉄道、空港
- クリーク、有明海など特有な景観

2. 北部地域、中部・南部地域には積極的に活用すべき資源があります

北部地域

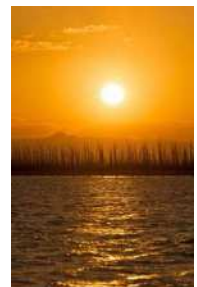
豊かな森林
温泉・ダム湖
福岡都市圏との関わり



富士しゃくなげ湖
画像提供：佐賀県観光連盟

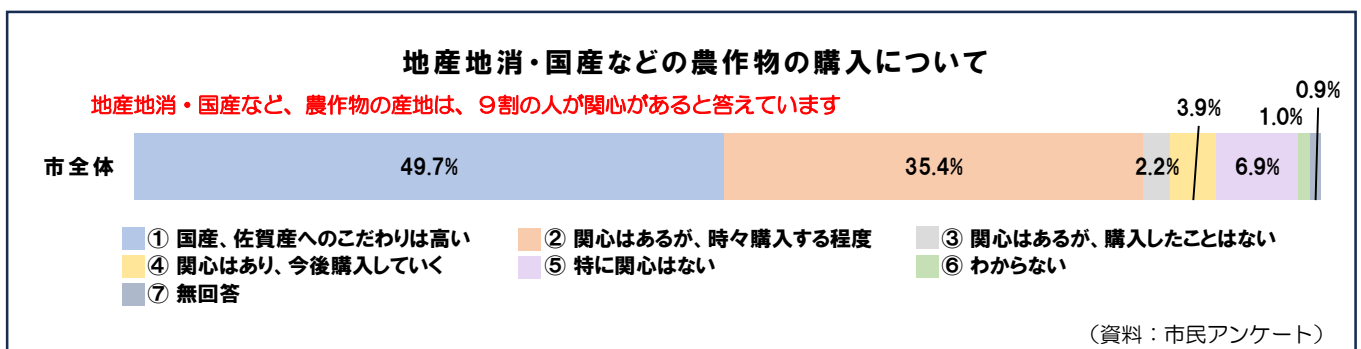
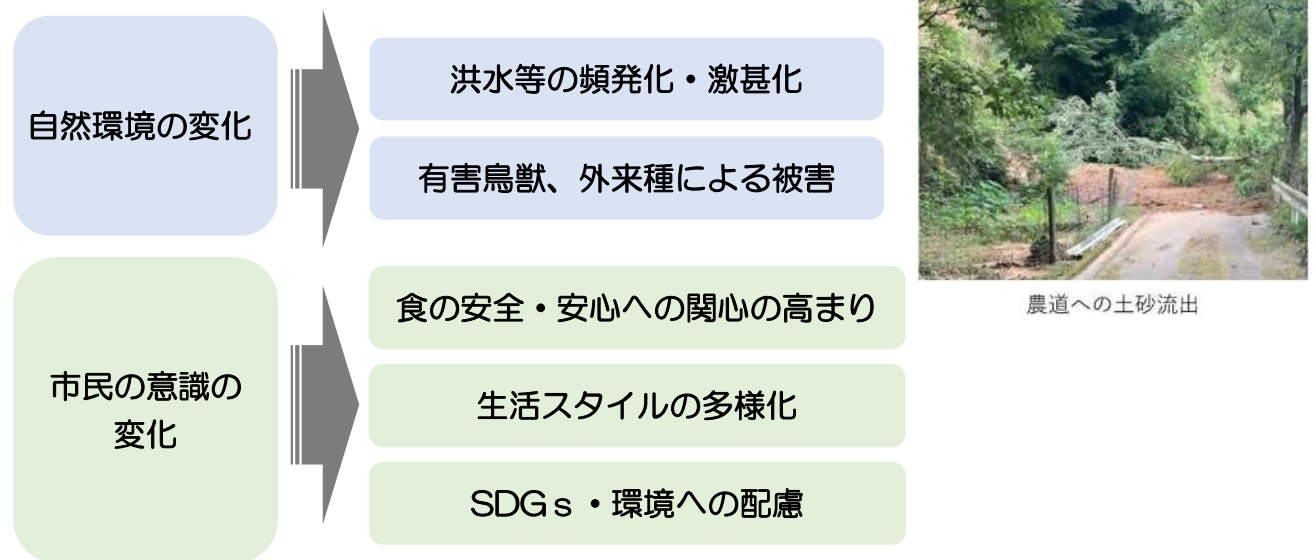
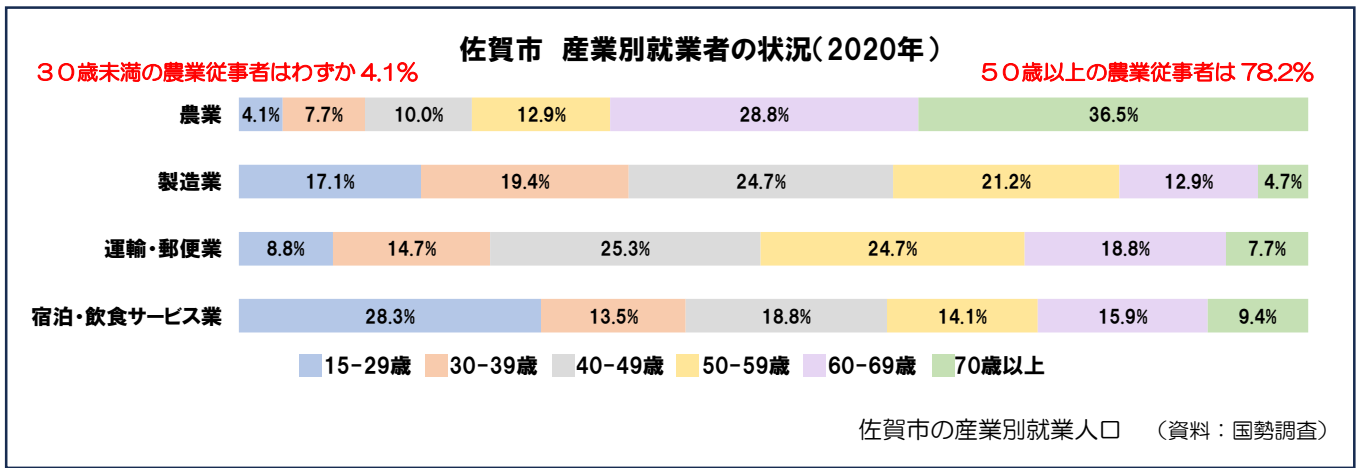
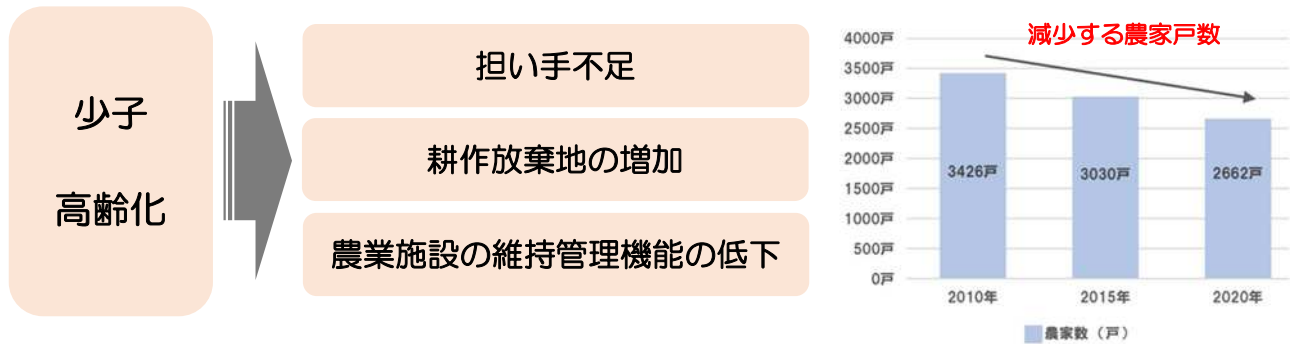
中部・南部地域

平坦で広大な農地
多数のクリーク
市街地に隣接する農地
国際的なイベント



特有な有明海の景観
画像提供：佐賀市観光連盟

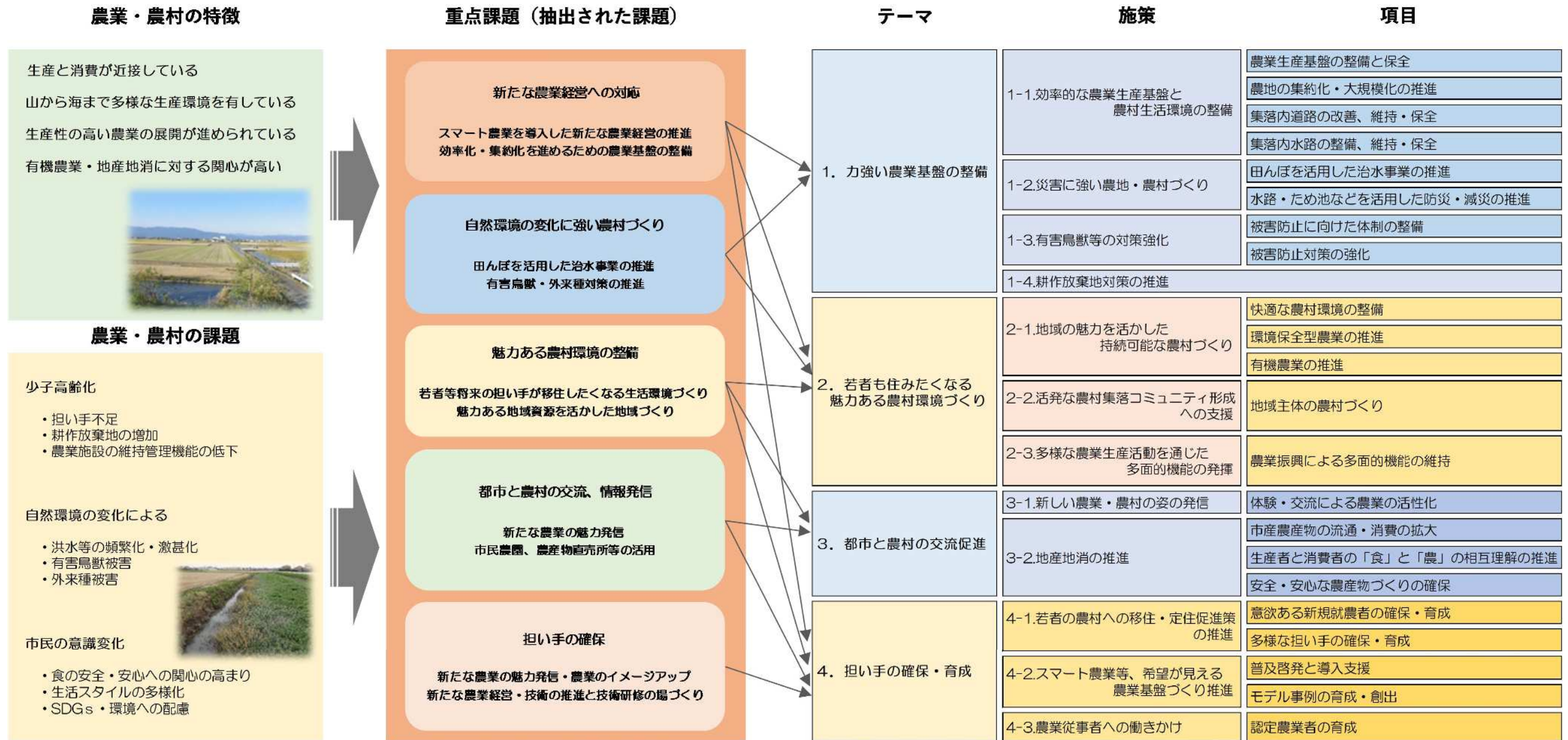
3. 佐賀市の農業・農村も、いろいろな課題を抱えています



4. 佐賀市の農業・農村の特徴を活かし、課題を解決していきます

地域の将来像の実現に当たっては、山から海までを包含する本市の特性を踏まえ、多様な環境を活かした農業生産や市民の参加拡大を目指すとともに、これらを支える生産・生活基盤の整備を推進するものとします。

～農の絆で 次代につなぐ魅力あるまち さが～
『未来につなぐ佐賀の農業を支える 力強く魅力ある農村づくり』



カモ被害対策（水路へのテグス設置）



農家の指導による体験農園



ドローンによる直播

本計画は、農業・農村において、地域の実情に即した個性ある「地域づくり」を視点に、将来の望ましい姿の実現を目指すものです。

そこで、本市の農業・農村の特徴を踏まえ、地域の将来像を『未来につなぐ佐賀の農業を支える 力強く魅力ある農村づくり』と設定します。

また、本計画との強い結びつきを踏まえ、「第4次佐賀市農業振興基本計画」の将来像「～農の絆で 次代につなぐ魅力あるまち さが～」をサブテーマに設定します。

5. 施策の具体的な項目の一部をご紹介します

集落内道路の改善、維持・保全

農村の住民の利便性を確保し、快適で安全な日常生活を過ごせる生活環境を形成するため、集落内の道路の改善、維持・保全を図ります。

営農の効率化と農産物集出荷の合理化を図るため、農道の整備及び維持管理を推進します。

集落内水路の整備、維持・保全

集落内に流出する雨水を集水し、排水路や河川へ導くため、集落内排水路の維持・保全を図るとともに、防火用水機能、景観保全機能、生態系保全機能等に配慮した水路整備を行うことにより、安全で魅力ある農村集落の形成を図ります。

田んぼ、水路・ため池などを活用した防災・減災対策の推進

激化する自然災害に備えた災害に強い安全・安心な農村づくりに向けて、田んぼを活用した防災・減災の取り組みを推進します。

休耕田、耕作放棄地等の適正管理を進め、保水機能の維持に努めます。

災害に強い安全・安心な農村づくりに向けて、水路・ため池などの農業用施設の適正管理、維持・保全に努めます。

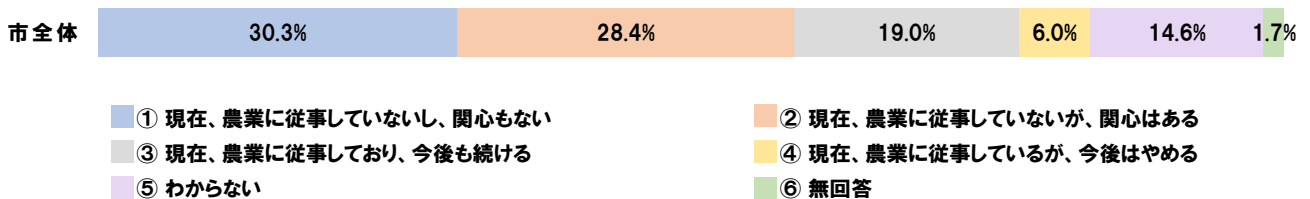
6. 市民アンケート結果の一部をご紹介します

市民を対象としたアンケート調査は、各校区自治会の協力のもと実施しました。

農業への興味、農業の継続にかかわる状況

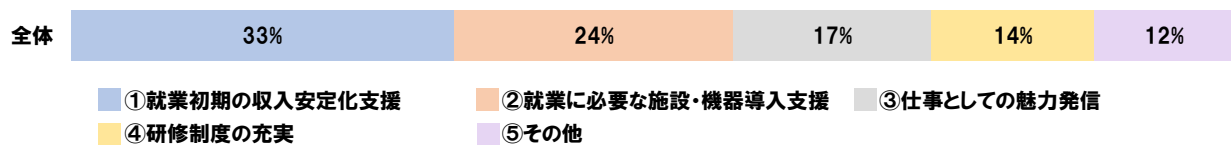
「農業に関心がある」と答えた人は 28.4%でした。

一方、「現在、農業に従事しているが、今後はやめる」と答えた人が 6.0%いました。



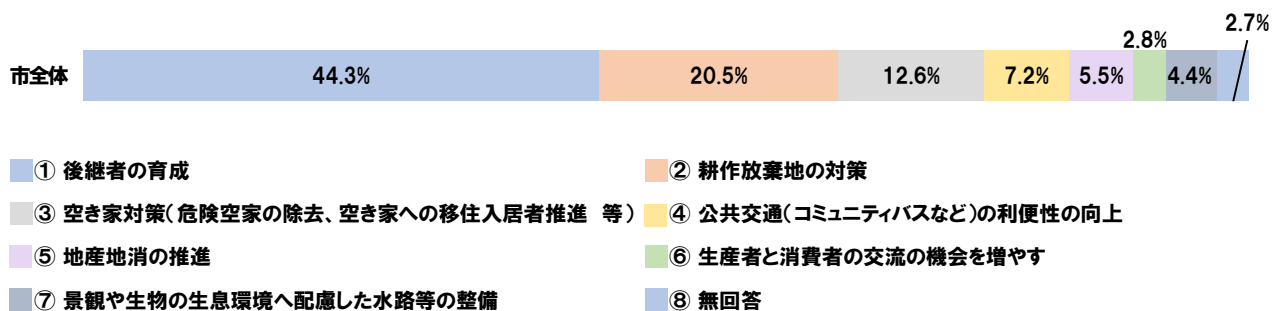
農業従事者を増やすために必要なこと

「就業初期の収入安定化支援」が最も多く、次いで「設備・機械導入支援」となっており、そのほか「研修制度の充実」など、支援体制の充実が求められています。



農村振興上の最重要課題

「後継者育成」が最も高く、次いで「耕作放棄地対策」となっています。



(資料：市民アンケート)

農村づくりにおいても、農業・農村が抱える課題をより多くの市民が共有し、これらの課題を社会的、公的な問題ととらえ、市民や地域、NPO 団体、企業等が自ら主体的にその課題解決に向けて取り組むことが重要です。

また、行政をはじめとする全ての主体が適切な役割分担のもと、対等なパートナーとして連携や協力を行う「協働」の推進を目指していく必要があります。

本計画に掲げた各施策についても、農業関係者のみならず、建設・福祉・教育・文化・環境等様々な分野の組織・団体・企業等との連携を図りながら推進することが必要です。

佐賀市農村振興基本計画図（地域別振興方策）

